

理事会報告

2013年度 第2回
6月12日

(単位：千円)

事業概況	5 月 度			累 計 (4月～5月)		
	実 績	計画比%	前年比%	実 績	計画比%	前年比%
供 給 高	3,985,380	102.6	104.1	8,058,055	100.0	98.8
供 給 剰 余 金	1,004,329	102.6	104.1	2,030,815	99.6	98.7
福 祉 剰 余 金	2,959	129.2	159.3	8,261	178.2	150.8
事業総剰余金	1,105,229	102.6	104.2	2,235,404	99.8	99.1
事 業 経 費	1,113,936	96.4	103.4	2,140,090	97.9	99.7
事業剰余金	▲8,707	—	—	95,313	183.8	71.2
経常剰余金	▲1,461	—	—	112,096	82.5	71.3

※実績・計画・前年実績のいずれかが「マイナス」で比較ができない箇所は、「-」で表しています。

おもに討議、確認した内容

- 共同購入は、供給高が計画比102.3%でした。利用人数は計画比97.8%と伸びませんでした。1世帯あたりの利用額が計画比104.4%と高かったことで、供給高としては計画を達成しました。店舗の供給高は計画比104.2%で、計画を達成しました（前年比は99.2%）。来店人数は前年比99.4%でした。
- 2013年通常総代会の結果について
- 2014年総代選挙管理委員の選任について
- その他、他団体からの要請およびくらしのとりくみについて

パル・よどがわ・なら
組合員さんの

2013年度 第3回 岩手ボランティアバス報告

第3回・6月21日～24日 95名参加



陸前高田市の道路の側溝の掃除を

陸前高田市 去年の夏に続いて参加しました。現地は少しづつでも復興への兆しを垣間見ることができると思っていました。ところが、訪れた陸前高田の町は、去年にまして雑草が生い茂っていただけでなく、ガレキの山は随分少なくなりました。未だにガレキから木材や金属を分別する作業が見られました。高台の土地価格が10倍もはね上がり、ますます再建の道が遠くなったとのこと、怒りを感じずにいられて良かったです。

復興まで10年はかかるであろう、そんな言葉を聞いて改めて思いました。何らかの形で10年間は被災地と関わってほしい。

(鶴見区 今里さん)

夏もエコライフ

8月3回注文書のアンケート欄で

1日エコライフに チャレンジしましょう♪

家族で決めた1日を「わが家のエコライフデー」として下記の問1～問8までをご家族でチャレンジし、参加した家族の人数を1～9の数字で8月3回注文書アンケート欄にご記入ください。

私たちのくらしの中から二酸化炭素(CO₂)をなるべく出さないことが、地球温暖化防止につながります。そしてできるだけ余計な電気を使わない工夫で、原子力発電に頼らない未来をめざして家族みんなで1日エコライフにチャレンジしてみませんか。



8月3回の注文書
回答は各問ごとに参加した家族の人数をご記入ください。

エコライフ項目	1日で減らせるCO ₂ 削減量の目安
問1 冷房の設定温度は28℃以上にした	138g
問2 冷蔵庫の中に詰め込み過ぎないようにした	61g
問3 シャワーのお湯は出しっぱなしにせず、こまめに止めた	90g
問4 テレビはつけっぱなしにせず、見ていないときは消した	23g
問5 電気ポットでの保温をやめ、使うたびに沸かした	150g
問6 部屋を出るときは明かりを消した	25g
問7 自動車を使わず、徒歩や自転車で移動した	261g
問8 買い物にマイバッグを持参し、レジ袋はもらわなかった	42g

省エネのヒント

「エアコンと上手につきあいましょう」

- 熱のこもった部屋は、冷房前にまず換気。風の「出口」と「入り口」をあけましょう
- 窓から入る「熱」を減らしましょう。ゴーヤなど植物の緑のカーテン、すだれやよしず、遮熱カーテン、遮熱フィルム、ペアガラス、内窓など
- 冷房する部屋には、炊飯器など「発熱する機器」は可能なら置かないようにしましょう
- エアコンの室外機は風通しが大切です。緑のカーテンやよしずなどで直射日光を遮るとさらに省エネに



1日エコライフに参加してみた感想や地球温暖化防止へのメッセージをお寄せください。

キ
リ
ト
リ

切り取って配送担当者へお渡しください **パルコープ開発部・環境担当行き**

大槌町



後ろに山がせまる大槌町の仮設住宅

大槌町に行かせていただきました。市街地は元々、草ボウボウの土地であったかのよう見え、そのままの役場や鉄筋の建物も残っていて何とも暗く寂しそくに感じられました。仮設住宅も山に隠れるように小規模であちこち点在しているようで、生活はさぞ不便であろうかと心配です。もう2年以上にもなるのにこの景色と生活なのですね。東北、岩手県は、大槌町は遠いですね。そのせいか、大阪では記憶が薄れてきているように思います。この記憶を残すために、今回また、見たこと感じたことを周囲の人に伝えたいと思います。

(枚方市 作田さん)



NO.37

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

被災地を再び訪れた組合員さんと職員から同じことを聞きます。「がれきは確かに減り、一部の地域では商店は再開しているが、仮設住宅以外の新しい住まいの息吹がほとんど感じられない」そして「元の街中と山すそを走る大型ダンプの多さ」です。

その理由は、「津波到達区域の土地かさ上げ」と「高台移転の為の山林の造成工事」です。確かに新たな街づくりに必要なステップですが、「復興パブル」の影に、建築資材の価格や労賃の高止まりがあります。地元の事業者・雇用者にまわるような仕組みになっているのか、とても気になります。このあと数年間続く建設ラッシュに頼らず、次代を担う若者たちがこの町に住み続けることができる「確かな働く場」や「三陸沿岸部の自然の恵みを活かした産業の建て直し」を考えさせられます。

陸前高田市では、8月7日は長い歴史を持つ「うごく七夕まつり」です。街の復興を願う若者たちが集うこの祭りに職員ボランティア(第5陣)も応援に来てくれます。

(NPO遠野まごころネットに常駐するパルコープボランティア事務局・林さんより)
遠野まごころネットのホームページは
<http://tonomagokoro.net/>



※ ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>

お1人でもご家族でも参加者募集

第9回・第10回「岩手ボランティアバス」

企画回	実施日	申込締切
第9回目	9月20日(金)～9月23日(月・祝)	8月23日(金)
第10回目	10月11日(金)～10月14日(月・祝)	9月13日(金)

【募集定員】各回20名(3生協で各回60名)
今までに参加された方も、申し込みを受け付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めての方が優先です)。

【参加費】お1人8,700円
(ボランティア保険・宿泊費、食事代含む)

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バス2台
1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時) <車中泊>
2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動、被災地視察 <宿泊泊>
3日目 ボランティア活動 <車中泊>
4日目 パルコープ本部前到着(9時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方。
* ボランティアの内容と場所は、現地での要請に基づきます。
* 持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内。
* 宿舎は男女別・相部屋。
* 天候不順などにより中止になる場合があります。

【申し込み・問い合わせ】パルコープ組織部
☎06-6242-0904 (月～金 9時～18時)